

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいさぼーとmoana2 (単位1)		公表日		令和8年4月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・利用対象を小学1年から4年生に限定することで、支援に必要な空間数を減らしている。また、必要に応じて仕切りで空間を分断できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・児童の利用を事前に確認して、職員のシフトを作成して職員の人数を調整している。 ・職員数にゆとりがあるため、急な事態にも連携が取りやすいように出来ている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・視覚支援を色々な場所に貼りだしている。 ・事業所内を工事し、パーティションで仕切り出来る様にした。	・細かい部分(手洗い場など)にまだ視覚支援が足りない箇所がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・衛生面や感染症対策のために、毎朝15分の清掃時間や整理整頓の時間を設けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・児童からの要望や急な事態に応じて、個室で対応できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・一つ一つ活動に目的(目標)を設定し、実践後は全職員でミーティングで話し合い、改善につなげている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者からの意見や要望を全職員で情報共有し、意向に沿えるように努めている。	・会議後の職員共有が出来ないこともあるため、やっていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・半年に一回は職員面談があり、業務量や体調面などの相談が出来る。 ・ミーティングで話し合い、改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第三者の外部評価を形式なものにできていない為、口頭だけではなく評価出来るシステムを作っていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・事業所や外部の研修の情報を流し、研修参加している。 ・資質向上の為に自由に研修に参加出来る環境は作っている	・色々な分野での研修をこれからはもっと増やして、職員の個々の能力を上げていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・運動を目的としたプログラムや目的がきちんと設定されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・生活全般における支援ニーズや解決すべき課題を共有し作成している。 ・アセスメントや計画相談員、児発管など連携して作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・複数の職員で色々な視点から意見が言え、客観的な立場から物事を見るよう工夫。 ・児童の担当職員や、その他の職員で話し合いを持っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・モニタリング会議の中で、計画内容を職員間で共有。 ・ファイルにつづり共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・職員が評価しやすいアセスメントシートに、内容を見直し(改善)てくれている。	・チェックリストがないため、作成していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・個別支援計画に設定されている。 ・提供すべき支援を踏まえながら、児童の成長に合わせ、支援内容を設定したり見直している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・担当をランダムで設定し、相談しながら立案をしている。 ・活動リーダーを設け、リーダーを中心として支援内容を共有し、実践している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・各担当が行っているため、様々な活動にチャレンジできるようにしている。 ・目的を共有し、挑戦できる環境にある。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状態に合わせ、専門的支援やグループトレーニング、集団活動など適宜支援している。 ・個別活動も取り入れている。また、必要に応じて個別でSST等対応している。 ・その日の活動リーダーを中心に、活動内容、目的、役割を事前に伝える仕組みが出来ている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・業務終了後に職員間で情報今日するべきことは必ず行っている。 ・送迎後の申し送りなどで共有している。 	・送迎から帰ってきた際に、申し送りの時間が短く労働時間をオーバーしてしまう事があるため、工夫していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・5領域に沿って、その日の事業所・家庭・学校の様子を記録し、心身の異変や変化、改善につなげる。 ・Huoソフトを使って支援記録を取っている。 ・支援ニーズの達成具合や新たな課題、解決すべき課題等に合わせ、見直しを行っている。 ・児発管から各職員に児童の割り当て、モニタリングなどを定期的にしている。 ・多様な活動を提供し、将来の自立を目指した支援と自己選択、自己決定等を身に付ける支援を心掛ける。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・好ましい伝え方の中で自己選択や自己決定が認められるように支援を行う。 ・活動の中に盛り込み、選択する力、発言する力などを育てている。 ・日々の変化や成長、課題、サービスの必要性などを情報共有。連携を図る。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・学校のアプリ（スクリレ）や、保護者の方からの連絡で調整を行っている。必要に応じて直接学校へ連絡なども行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での持ち上がりが多いため、密に連携し情報共有をしている。 ・必要に応じて行う事はある。 	・機会やそういう場を設けられたら実行できるかもしれないが、各関係機関も多忙な時期なので、実行が難しい場合もある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所への移行の場合など、引継ぎを行っている。 	・4年生までの受け入れになるので、就労への移行などは管轄外になっているが、今後事業所内で知識を入れることで、「繋がる支援」をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や家庭に大きな課題があった場合に、支援への助言を頂けている。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学童クラブとの交流会（夏祭りなど）が2回ほどあった。また、公園などでもその場にいる児童と一緒に遊ぶこともある。 	・今後は他の地域の事業所や学童さんなどとも交流を増やしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・にごキッズ連絡会のゆんたく会など参加している。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と毎日の申し送りや、個別でも電話やラインでやり取りし問題解決をしている。 	・毎日申し送りをしているが、共通理解まで行っていない場合がある。会議などですり合わせを続けていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて研修での資料や事業所で活用している教材等を情報提供している。 	・以前は行っていたが、現在は行っていない。今後の課題としていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしている。 ・説明時に丁寧な対応を心掛けている。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング会議などで行っている。 ・必要に応じて面談の機会を設けている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語や難しい言葉は控え、わかりやすい計画書と説明になるよう意識している。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルや問題が起きる前に、なるべく速やかに丁寧な対応を心掛けている。 	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は親子登山やウォークラリーなど、家族参加の交流会を行った。 ・親子登山や家族参加型のウォークラリーを開催し、交流の機会を設けている。 	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な聞き取りを心掛けている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに活動票を保護者に配布している。 ・毎月、活動予定表の配布はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後積極的にSNSを活用し、保護者に今以上の情報提示（活動の具体的な様子など）ができればと思っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・新規契約の際に情報同意書をもらい、取り扱いに留意している。 	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・相談があれば話す機会を設けている。 ・相談しやすい関係性を意識しながらはぐくむようにしている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回は近隣地域で歩行訓練し、その際に地域清掃を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以降、比較的難しくなってきたものの、工夫をして開催していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・災害、火災、不審者を想定した訓練を月に一回実施している。 ・定期的に研修や訓練を行っている。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・災害、火災、不審者を想定した訓練を月に一回実施している。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・新規契約の際に確認と必要書類の提出がある。 ・保護者からの情報、LINE、電話、HUGシステムを活用している。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に保険調査票でアレルギーの有無の確認をしていて、事業所の方針としてアレルギーのある食べ物は提供しないと決まっている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・おやつや送迎等、活動の場面場面に解いて具体的な注意喚起を促している。 ・車両点検や、ヒヤリハットの会議などを定期的に行っている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お土産の配布禁止等、学校での取り組みに取り組みに近づけながら安全対策を行っている。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・週に一回、職員間で共有し、すぐに安全対策や支援の見直し、検討が行われている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加した職員が全体へ報告する機会（学習会）がある。 ・事業所やうるま市の研修に参加している。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に保護者説明を行っているが、現状でそこに当てはまる児童はいない。 		